

## 第10回 JR東日本R&Dシンポジウム 「環境にやさしい鉄道」の概要



当社は、「環境にやさしい鉄道～高エネルギー効率とゼロエミッションを実現する未来のシステム」をテーマとして、2003年11月26日に第10回 R & D シンポジウムを開催しました。今回の JR East Technical Review (No.7) では、「環境にやさしい鉄道」をテーマとして、前半は R & D シンポジウムの概要をご紹介します。後半は環境に関係する技術論文を掲載いたします。

今回のシンポジウムでは、「環境にやさしい鉄道」をめざした具体的な研究開発の成果とこれからの進め方を発表し、社外の方々に当社の環境への取り組みをご理解いただきました。まず、シンポジウムでは、日本テトラパック株式会社の取締役会長で、国連大学ゼロエミッションフォーラムの会長を務められている山路敬三氏から、「鉄道と CSR 経営」と題して、CSR 経営の理念、リサイクルに対する企業の取り組み、今後の CSR 経営の推進について講演をいただきました。続いて、東日本旅客鉄道株式会社常務取締役・富田哲郎から「JR 東日本の環境への取り組み」として当社の環境

問題に対する考え方と社会環境報告書2003の内容を中心とした環境への取り組み全般を発表し、東日本旅客鉄道株式会社常務取締役・有森幸雄からは「環境にやさしい未来の鉄道 その実現に向けて」と題して、研究開発分野における環境関連テーマの紹介と今後の方向性の発表を行いました。最後に、慶應義塾大学大学院教授・石谷久様、石川島播磨重工業株式会社理事・事業企画部長の佐藤順一様、東日本旅客鉄道株式会社取締役・稲生武、先端鉄道システム開発センター所長・遠藤隆の4名で「環境問題に対して鉄道が果たす役割 研究開発が貢献できること」と題したパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、環境問題に関して鉄道が果たせる役割、JR 東日本の環境に関する研究開発の現状と今後の役割について議論が交わされました。

以下、それぞれの講演について講演録の形でご紹介いたします。

※ R & D シンポジウムでご講演を頂いた山路敬三様は昨年12月26日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。